

## 1. 災害時における避難所のあり方について

●避難準備品（マスク、消毒液等）は、町で用意できないのか。

⇒避難所（町）でも準備しますが、できるだけ自ら準備をお願いします。

●三宅地区では、何人の方が避難できるのか。

⇒地震想定では、避難者 1,300 人を分けて避難所を決定していますが、コロナ対応により 1/3 程度の受入になるため、超過する場合は、三宅地区では町体育館等を開設していく計画です。

## 2. ケーブルテレビネットワークの更新について

●CATVの無料プランが無くなるとのことだが、無料プランは残すべきではないか。

⇒今後、CATVに関しては、民営化に移行します。民間経営となると経営のことも考えなければならぬので無料プランを残すのは難しいと考えます。整備ができた地域から順次新しいサービスを提供していく予定になっています。ただ、新しいプラン等具体的内容は決定していないので、無料プランのことも含め検討し、内容が定まれば説明をしていく予定です。

●CATVの料金は近隣の市町（美浜・小浜・敦賀）と比べてどうか。

⇒CATVについては、美浜とは同等、敦賀・小浜はチャンネル数のこともあります、少し高めの料金設定となっています。

●ケーブルテレビの運営体制について、5年になるとのことだが、民営化の業者はMM ネットでもチャンネルOでもないのか。

⇒運営業者は、現時点では確定していません。現在、三方地域は、三セクのMM ネットが運営していますが、今後、お示しできる時に改めて集落単位の説明会時にでも報告したいと考えています。追加説明として、美浜町・三方地域のMM ネットは、施設の更新を除くと年間3千万円～4千万円の黒字ですが、年々減少しています。民営化するにしても、様々な業態（多種目）を組合せて経営することが求められており、そうでないと経営が厳しい状況です。その中で、嶺南ケーブルとも話しをしています。今後、業者・業態（いくつかの組合せ）について、集落単位の説明会が必要と考えています。

●令和5年から民営化になるということですが、チャンネルO、MM ネットはどうなるのか。

⇒ケーブルテレビ技術を要する民間企業と調整していきます。現時点では民間企業は決定していませんが、令和5年の民間移行に向けて進めていきます。自主番組についても残していく方向で調整をしており、小浜市の情報も入ります。

●CATVの統合でチャンネル数の減少や若狭地域の情報が少なくなるのではと思う。

⇒ローカル放送については、チャンネルO（広域情報）を引き続き見られるようにします。上中地域の地上波11チャンネルも続けていきたいと考えています。

### 3. 上下水道料金の改定について

●上下水道の料金は近隣の市町と比べてどうか。

⇒上水は県内で10番目の料金となっており、全17市町の中で真ん中より安いほうです。今後、他の市町でも料金が上がる予定があると聞いています。下水については、4人家族では8番目の料金となっています。7人家族で計算すると、人員割を採用しているため12番目となり、安くなっています。

●水道について、民営化を検討している自治体も多いが検討しているのか。

⇒事業全体を総括で委託するメリットがないと思われるため、検討していません。

●値上げが必要なのは承知している。今後、住民に納得してもらうには、県内市町の中での料金の順位などの説明が必要。お金がないから値上げが必要という説明ではなく、他の市町がもっと高いから、値上げさせてくださいという説明が必要である。

⇒現在、一般家庭の13mmで30m<sup>3</sup>使用した場合3,400円、県内で10番目です。これが改定後、現在の他の市町の料金で比較すると、5番目になります。しかし、他の市町も同じような状況で、料金改定が行われていくと思われま

●下水道料金、世帯の人数×500円になっているが、他の市町は単純に水量を按分して料金を支払っている。そのあたりを教えてほしい。

⇒昨年冬に区長さんを通じて、各戸の井戸や集落の水道等を使用しているかのアンケート調査を行いました。集計の結果、約2割の世帯が水道以外を使用していました。料金改定を検討するに当たり、従量制も検討しましたが、2割の世帯について、使用水量を把握しきれていないことから、今回の改定では、これまでと同じ料金体系である人頭割としました。しかし、必ずしも、人頭割を続けるわけではなく、従量制については継続し検討していきます。今回、一人、二人世帯等にも考慮して、このような料金改定としました。

●上下水道料金の改定について、遊子区は件数も人口も少ない。修理費は多額の金額が掛かる。戸当りの負担が大きい。考えて欲しい。

⇒他の集落にも関連しますので、区長さんと別途協議させていただきます。

●若狭町の水道料金は、県内、全国と比べてどうか。

⇒現行では17市町中10番目、改定後は5番目くらいに上がりますが、他の市町も今後改定があると思います。

●人口減少を反映しているのか。

⇒適切に反映しています。

●消費税を加味しているのか。

⇒税込で、3割程度の増額となります。

#### 4. 保育所の民営化について

●公立保育園に対する国の補助金がなくなったとのことだが、なぜか。

⇒補助金自体は平成16年になくなっており、平成27年に法律の改定がありました。国全体の少子化対策の一つであると考えます。また、民間の活力導入のため民営化に対しては補助金を出すというスタイルが変わったためだと推測されます。

●民営化は、全国的な流れの中での実施なのか。

⇒若狭町は民営の保育園が少ないのが現状です。全国的な流れかどうかについては、不明です。

●保育園は一斉（全園）に民営化されるのか。

⇒一斉ではありません。まずは私立のない上中地域の一園からを考えています。民営化・統合については順次進めていく予定で、小学校の再編とも整合性を図りながら、進めていく予定です。

●どこの保育園に通園することも可能になるのか。

⇒現在でも、どの保育園に通園することは可能です。

●民営化となることで、現在の保育方針は変わるのか。

⇒保護者の方から、現在の「里っ子いきいき保育」を継承してほしいとの声を多くいただいています。民営化の事業者選定には、現在の保育を継承することを選定基準に盛り込む予定です。

●民営化した場合の方が財政的にも良いのか。保育料金は変わらないのか。

⇒建築から約30年近く経過している施設もありますので、修繕費用等も今後多くなることが想定されます。建て替えという話も出てきた場合には、公立保育園では国からの補助金がありません。私立は国や県から補助金の交付があります。施設を建て替える際、公立の場合は、すべて町の一般財源での対応となり、私立保育園に移行していく方が財政的には有利と考えます。保育料金についても変わりません。

●気山保育所も私立化を考えているのか。

⇒どこの保育所を私立化していくかを現在示すことは出来ませんが、学校と保育所、地域とはつながりが強いことから学校の適正化計画と整合性図りながら、進めていきたいと考えています。

●民営化の業者は地域に根付いてくれるのか。

⇒里っ子いきいき保育を継承していくこと等を条件に、地域に根付いてくれる業者を選定します。

●民営化は採算がとれるような体制で運営できるのか。

⇒定員程度の入所数があれば、国等の補助金も活用して運営は可能であると考えます。

●園児が減ってきている中で、適切に運営できるのか。民間事業者の選定をしっかりと行ってほしい。

⇒保護者が安心できるような事業者を、ガイドラインを定めて慎重に選定していきます。

●保育所の児童が減るのになぜ抜本的な改革をしないのか。

⇒確かに減少はしていますが、急激な減少となっていないためです。

●保育所の民営化で公設民営方式とはどういう方式か。町の施設を譲渡するのか。また、対象施設発表の具体的な予定、保護者への説明会はあるのか。

⇒公設民営化は、現在の保育園を活用して民間事業者が運営することです。譲渡か売却かは、決まっています。今後、意見をまとめて、総合的な判断により対象施設の発表を行っていきます。

## 5. 小学校の統廃合について

●今後、中学校も統合が必要との話だが、どちらかに統合するというのは結構な問題である。三方中・上中中学校の生徒の数は。

⇒三方 202 人、上中 205 人です。

●複式学級が複数あるというのはどのような事か。例えば3・4年生の複式と5・6年生の複式学級があるという事か。

⇒その通りです。小学校1年生は基準が異なりますが、2学年合わせて16人以下になると複式学級となります。複式学級が複数ある状態が、数年続いていくと見込まれると統合を検討していくことになります。小学校1年生を含む場合は1・2年生合わせて8人以下が基準となります。

●仮に統合となった場合に通学はどうなるのか。スクールバスを出してもらえるのか。

⇒現在の対象校となっている明倫小・熊川小ではスクールバスを検討しながら説明をしています。

●学校が廃校になるのは、地域にとって重要な問題である。学校がなくなると、地域が徐々にさびれていくという感覚をもっている。人数が少ないからという理由で、安易に廃校ではなく、地域の発展も踏まえた統廃合計画をお願いしたい。

⇒子どもの将来を考えて理解してほしい。もし、廃校になった場合は、跡地利用について、地域の方と一緒に考えていく必要があると思います。今後子どもの人数は減っていきますので、地域と一緒に地域を盛り上げていきたいと考えています。

●小学校の将来的な数は何校を想定しているのか。

⇒小学校は地域コミュニティとして残したかったが、子どもの数が今後予想以上に減少します。今後の方向性としては、小学校は上中地域に1つ、三方地域に1つ、中学校は三方・上中で1つにならざるを得ないと考えます。そうすると学校跡地の活用も大きな課題であります。上中地域の小学校はすべて上中中学校へ、三方地域も小学校は三方中学校へと、そして中学校を新たに設ける構想等になるのではないかと思います。また、学校での環境は複式でない方が子どもの教育のためになると思っています。子どものためには集団の良さがあると考えますので、未来の子どものための学校再編と理解していただきたいと思っています。

●熊川小が瓜生小へ統合されることになるが、登下校についてはスクールバスで通うのか。

⇒スクールバスで通う案を考えています。

●スクールバスの時間、本数はどうなるのか（学年で終了時間が違う）。

⇒登下校時間に合わせて運行します。（登校1本、下校2本等）

●授業、行事等によっては、通常の時間ではない下校時間になる場合はどうなるのか。

⇒基本的に学校行事等で下校時間が変わるのであれば、その時間に合わせて運行します。

●学校の統廃合に伴い、瓜生小学校のリフレッシュ工事はあるのか。

⇒統廃合が決定すれば、来年リフレッシュ工事をする予定です。

●令和2年～令和8年の推移では町内の児童数は減っているが、熊川小は増えている（22人⇒34人）。なぜ統合を進めるのか。

⇒一定の規模の人数で学習することが望ましいと考えているため、複式学級が続いていく学校を統廃合していく考えです。

●来年町長の任期が満了するが、その中でも令和4年4月の統合ありきで進めるのか。

⇒行政は継続であり、子どもたちの教育環境を守るために再編が必要と考えています。当初、令和3年4月と考えていましたが、諸般の調整が必要であるため1年間先送りしました。ご意見はあるとは思いますが、ご協力をお願いします。

●なぜ熊川小・明倫小なのか、明確な答えをお願いしたい。

⇒同じ若狭町の児童には、同じ環境で学習させてあげたいため、同い年の子どもたち20～30人の中で勉強させてあげたいと思っています。

●出生状況を見るかぎり、瓜生小の1年生は12人しかいない。令和4年で合併しても再度合併しなければならない。その後も見据えた合併、再編をすべきであり、オンラインの活用等も踏まえ長い目で見てほしい。

⇒確かに20人に満たない年もありますが、少なくとも複式学級にならず、単式学級です。人数だけでみれば、やがて小学校は三方・上中で1校ずつと思いますが、今の段階では最良と考えてい

ます。

●熊川地区のアンケートの結果についてどう考えているか。

⇒内容について教育委員会で精査し、改めて地域との懇談の場を持ちたいと思います。

●町長は、現職の間は統合しないと書いていたが、なぜ変わったのか。

⇒平成 21 年の就任時には統合はしないと考えていましたが、子どもの減少が尋常ではなく、各専門家からの意見も複式学級をなくしていくべきとの提言を受けました。地域と学校は一緒だと考えていましたが、子どもたちの学習環境を第一に考え、地域に学校は必要ですが、統合していくことにご理解をいただきたいと思います。

●答申には地域の意見を行くとあるが、答申から発表までの間に地域と話し合いの場を持たれたか。保護者の意見だけで熊川地区民の意見を聞いていないのではないか。

⇒答申後、10月に地域に計画を持って行っています。

●熊川地区のアンケート結果を聞いて率直にどう思っているか。

⇒賛成 21.4%、条件付き賛成 29.8%、多くの方が理解してくれていると思っています。

●熊川地区のアンケート意見の多くは、上中で1校というような抜本的な改革をしてほしいとの内容だったので、持ち帰ってしっかり検討してほしい。

⇒持ち帰って、十分検討をさせていただきます。

●5つの小学校を1つにまとめてほしい。今回の学校統廃合については、白紙に戻すと明言してほしい。

⇒即答はできないが、意見として持ち帰ります。

●これだけ反対があってもこのまま進めるのか。

⇒教育委員会は、あくまでも子どもの教育環境を念頭に置いて計画を進めてきました。2割の賛成も尊重したいと考えています。

●このまま進められては困る。再検討の結果は必ず報告してから進めてほしい。

⇒承知しました。再検討の結果をもって再度地域へ説明をさせていただきます。

●統廃合計画については理解できる。子どもの学習環境のためにもこの先も早めの対応をお願いしたい。

⇒貴重なご意見をありがとうございます。